

第201回 千葉県都市計画審議会

資料1 第1号議案関係資料

資料2 第2号議案関係資料

資料3 「口頭意見陳述等への対応要領」の変更について

資料4 「会議の公開に関する取扱要綱」の変更について

○第1号議案 成田都市計画道路の変更

北千葉道路の全体概要

北千葉道路 約43km



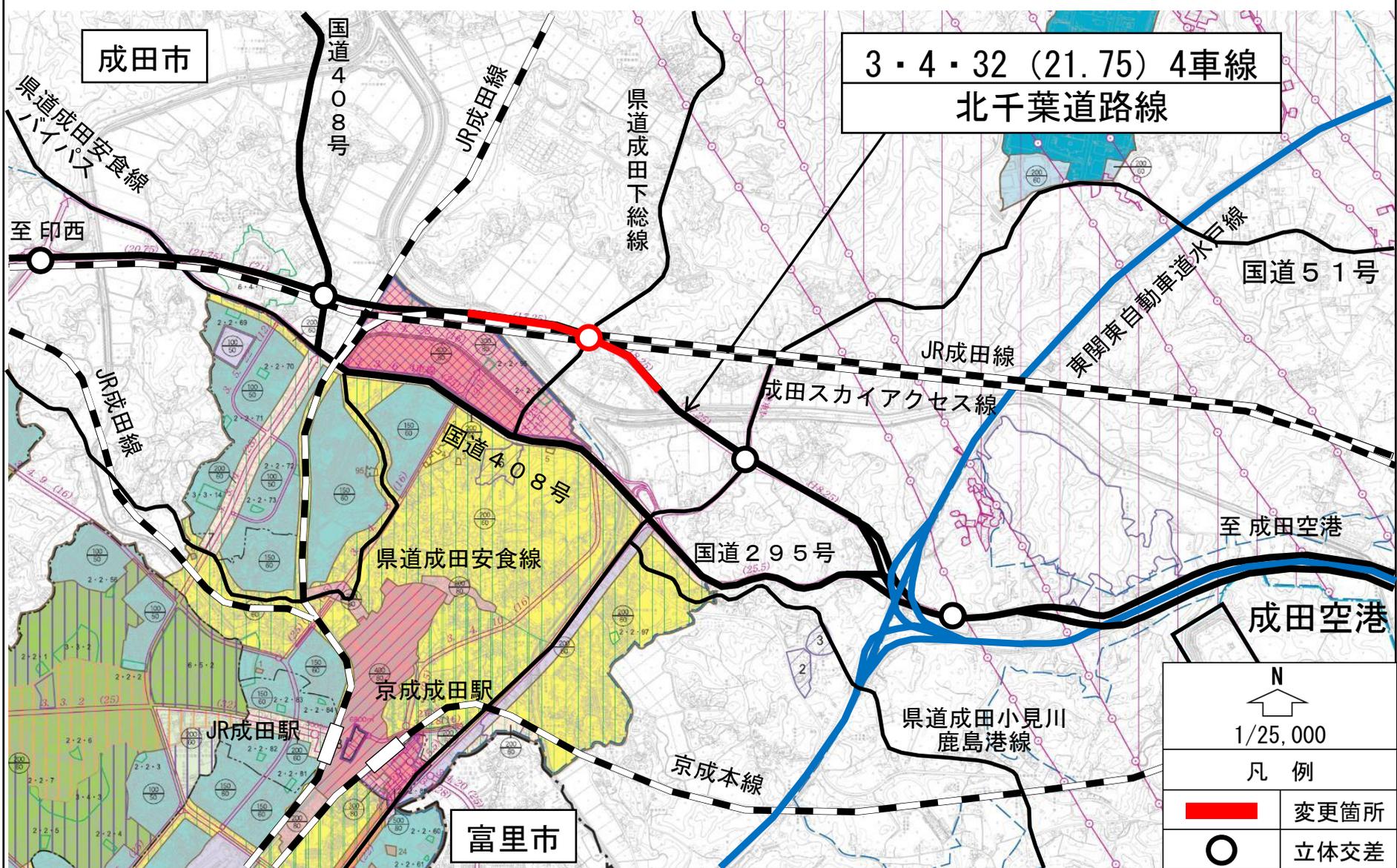
今回変更箇所

成田都市計画区間

- 北千葉道路
- 有料道路
- 国道
- 主要地方道
- 一般県道

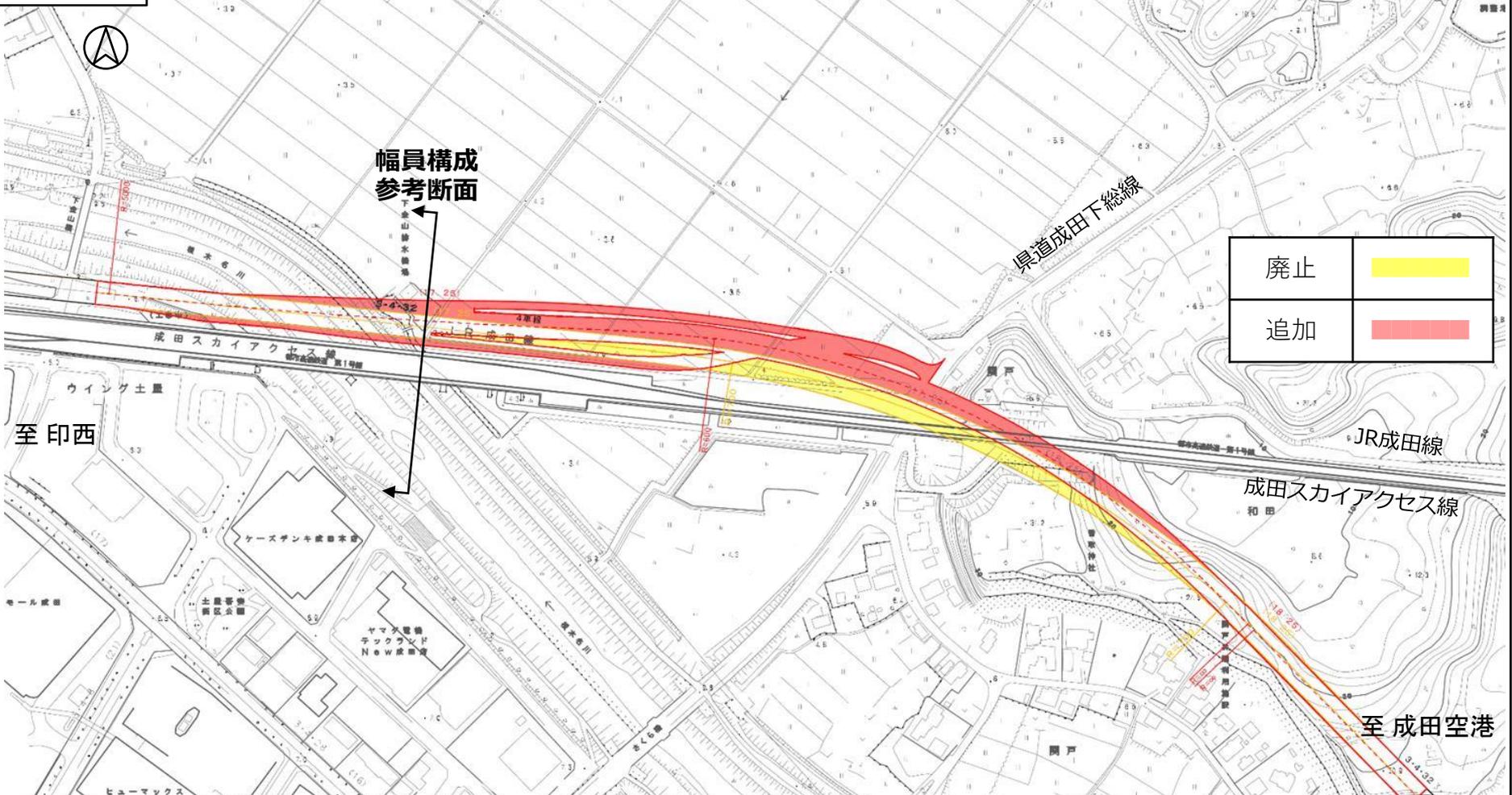
○第1号議案 成田都市計画道路の変更

位置図



○第1号議案 成田都市計画道路の変更

計画図



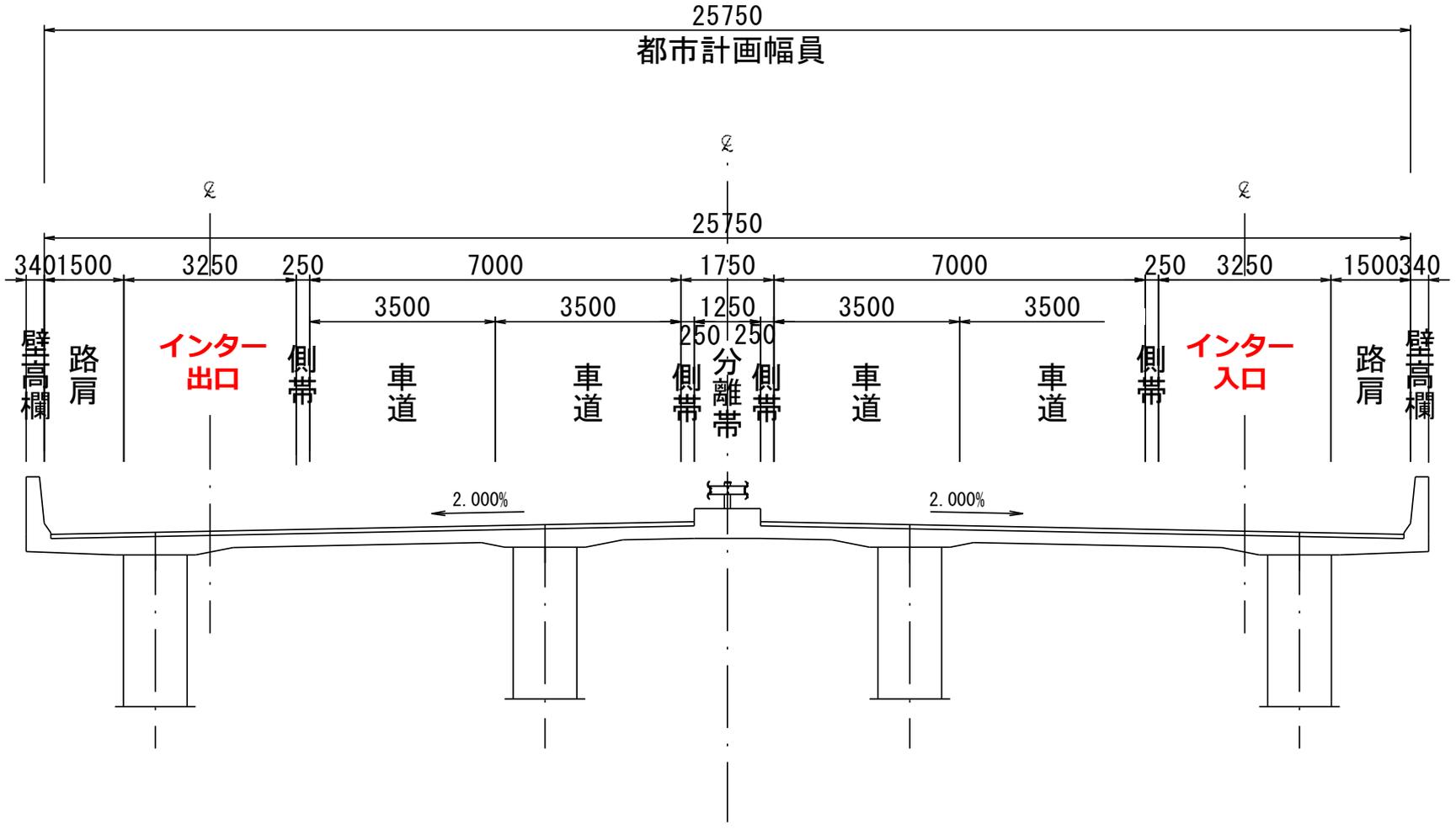
廃止	
追加	

名称		変更の内容									
番号	路線名	旧番号	旧路線名	起点	終点	線形	延長	構造形式	幅員	車線の数	備考
3・4・32	北千葉道路線	—	—	—	—	変更	約9,660→ 約9,670m	—	—	—	(主) 成田下総線との交差点における線形等の変更

○第1号議案 成田都市計画道路の変更

幅員構成

IC部 (今回追加)

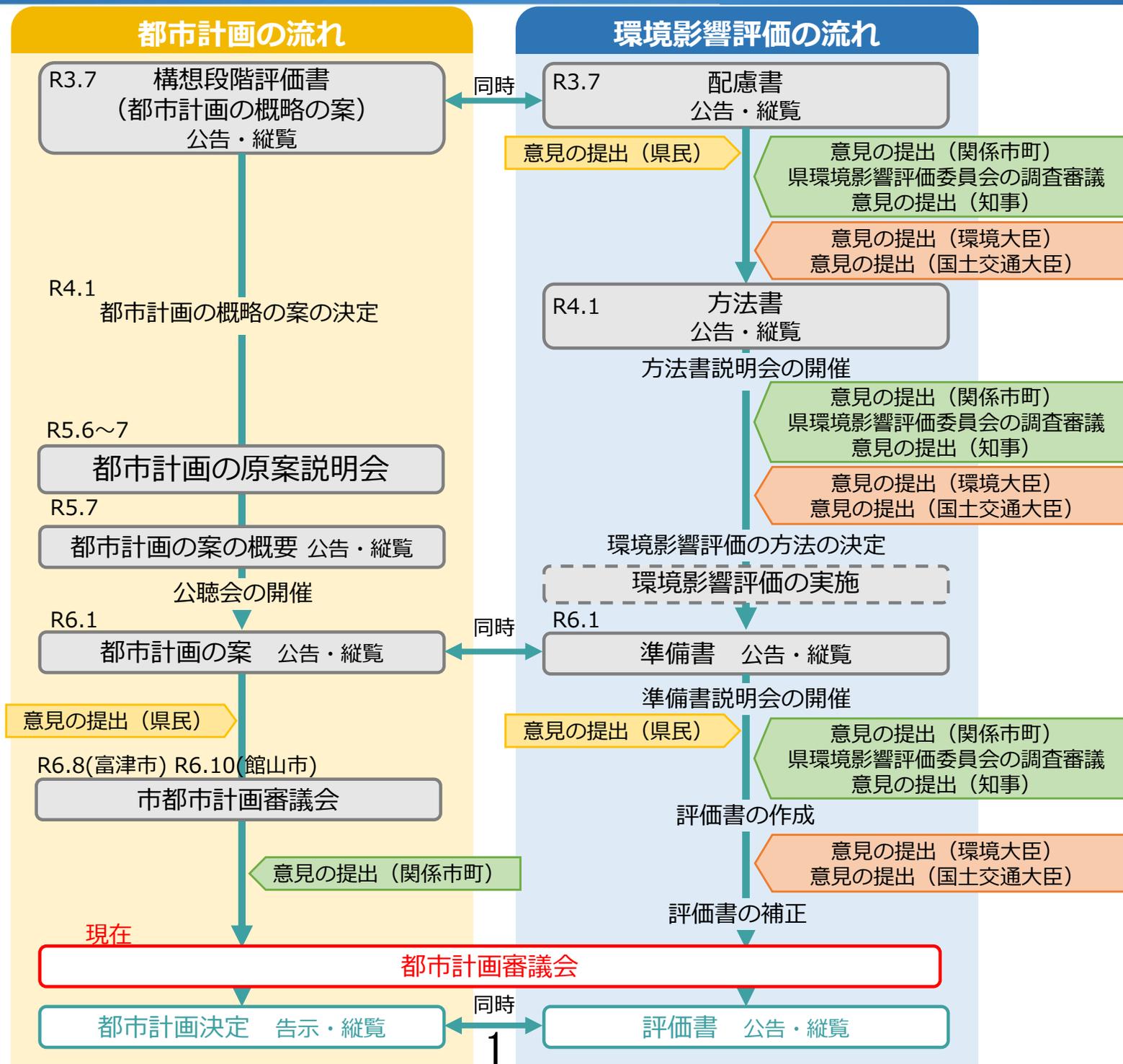


○第1号議案 成田都市計画道路の変更

完成イメージ図



1. 都市計画・環境影響評価手続きの流れ



2. 館山都市計画道路の変更概要

■ 対象路線

富津館山道路、ふかなさなぐら深名真倉線

■ 概要

既に都市計画決定されている館山都市計画道路「川名真倉線」をかわなさなぐら変更し、「深名真倉線」として都市計画変更するとともに、新規に「富津館山道路」を都市計画決定

【富津館山道路】

既存道路を含めた4車線道路として新規に都市計画決定

【深名真倉線】

一般国道127号の道路線形の一部の変更及び区間の延長について都市計画変更

新規決定又は変更しようとする区間



3. 富津館山道路の概要について

■ 概要

路線名：1・3・1号 富津館山道路

区 間：富浦IC（南房総市富浦町深名）から富津竹岡IC（富津市竹岡）まで

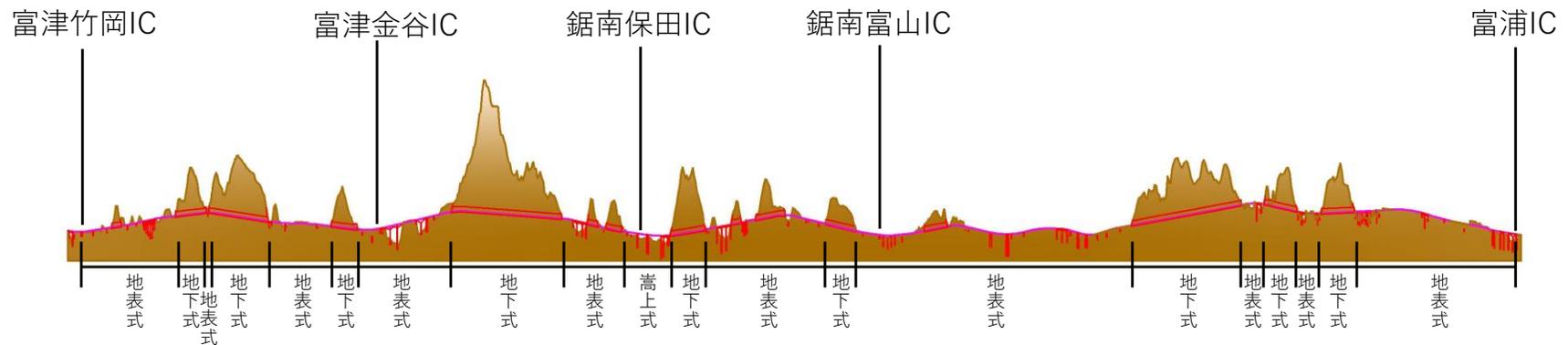
延 長：約20.2 km

富津館山道路は、東京湾アクアラインや館山道と一体となり、本県の半島性の克服、観光や農林水産業の振興等、南房総地域の活性化に資する重要な道路。

富津館山道路の全線4車線化に向けて、暫定整備された2車線と、山側に新たに整備する2車線を併せて、館山都市計画道路1・3・1号富津館山道路として都市計画決定を行う。

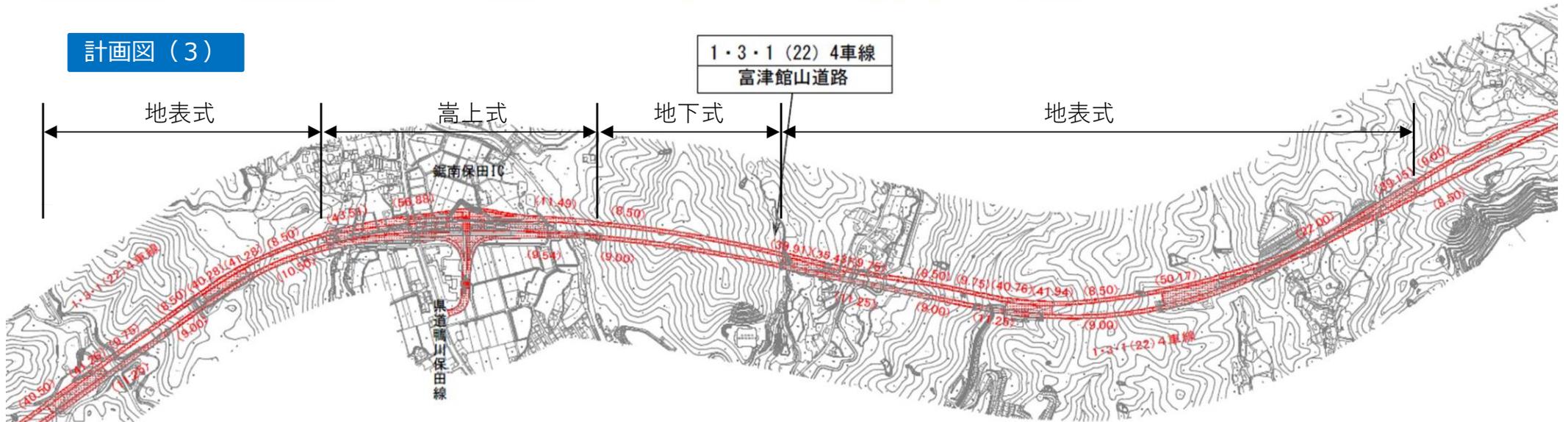


3. 1・3・1号富津館山道路の構造形式について

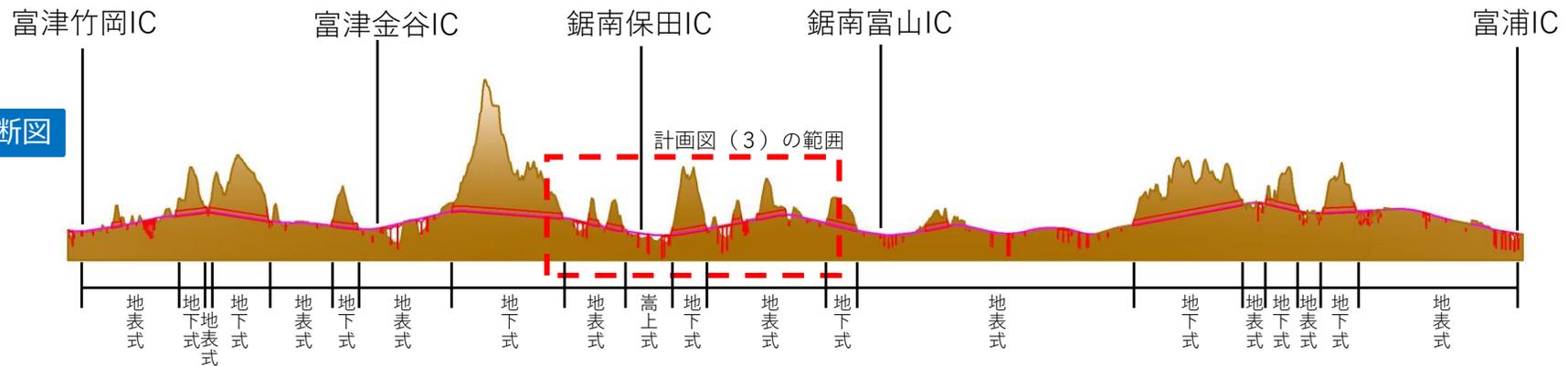


3. 1・3・1号富津館山道路の計画図について

計画図 (3)

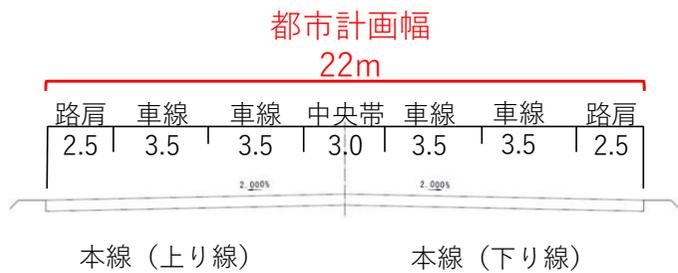


縦断面図

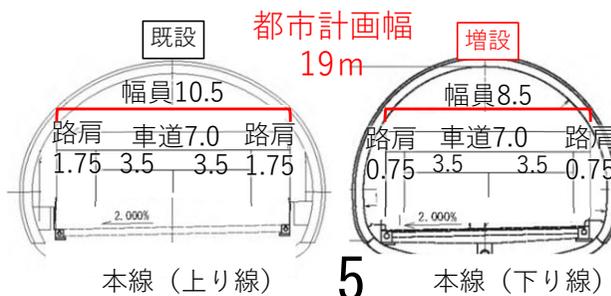


標準横断面図

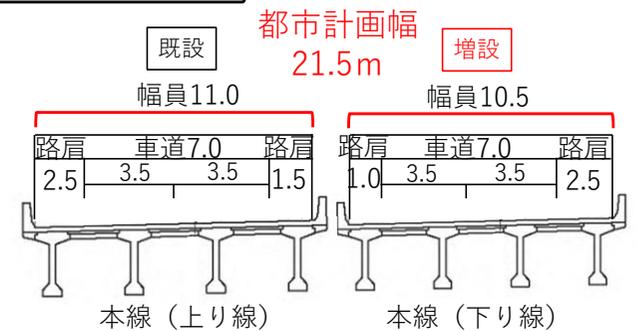
地表式 (土工部)



地下式 (トンネル部)



高上式 (橋梁部)



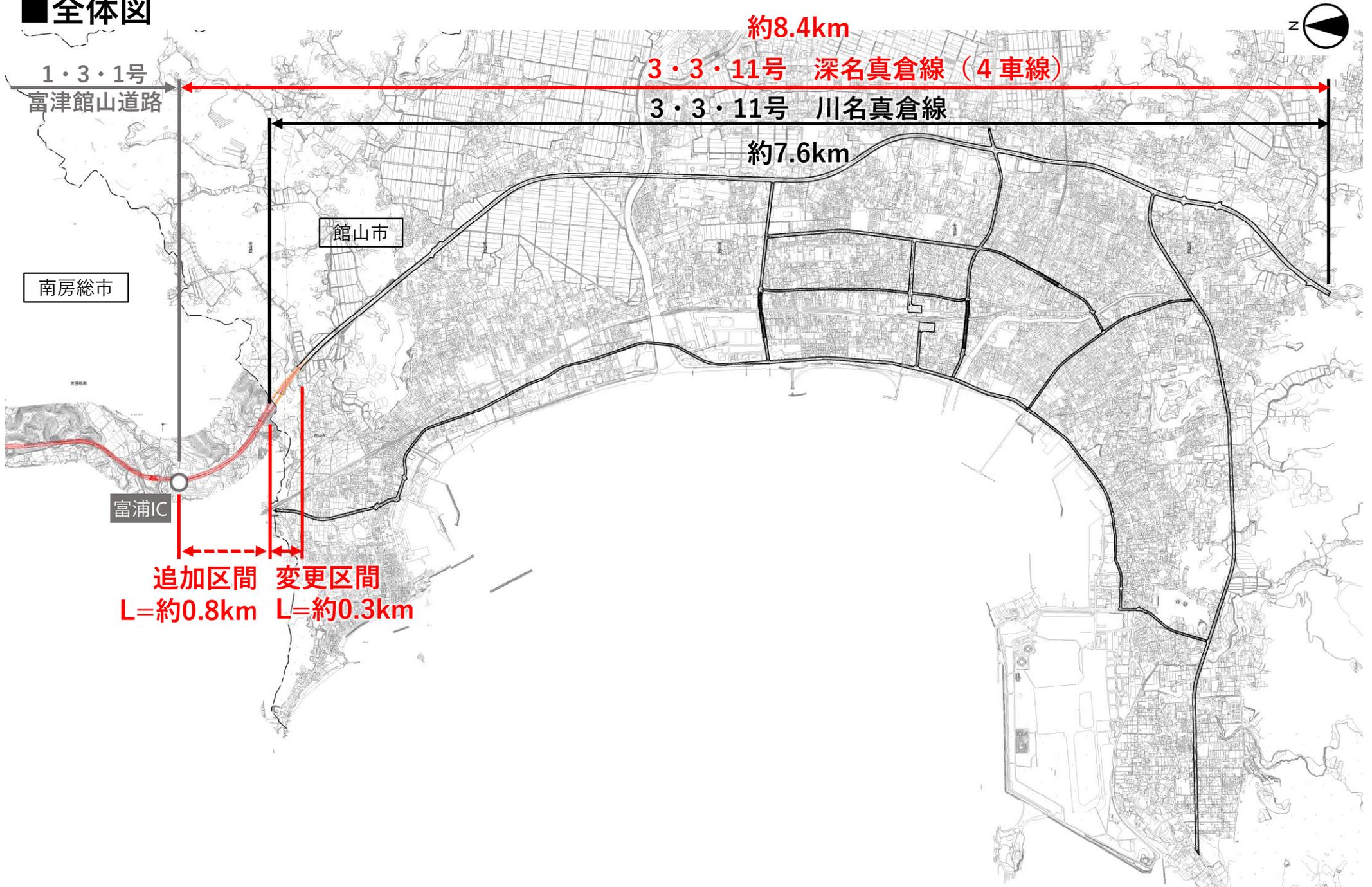
4. 3・3・11号深名真倉線の概要について

- 館山都市計画道路「川名真倉線」の起点部を南房総市富浦町深名（富浦IC）へ変更し、名称を「深名真倉線」に変更
- 館山市内の既存の都市計画道路の線形の一部を都市計画変更
- 館山市境から南房総市富浦町深名（富浦IC）までの区間を追加して都市計画決定



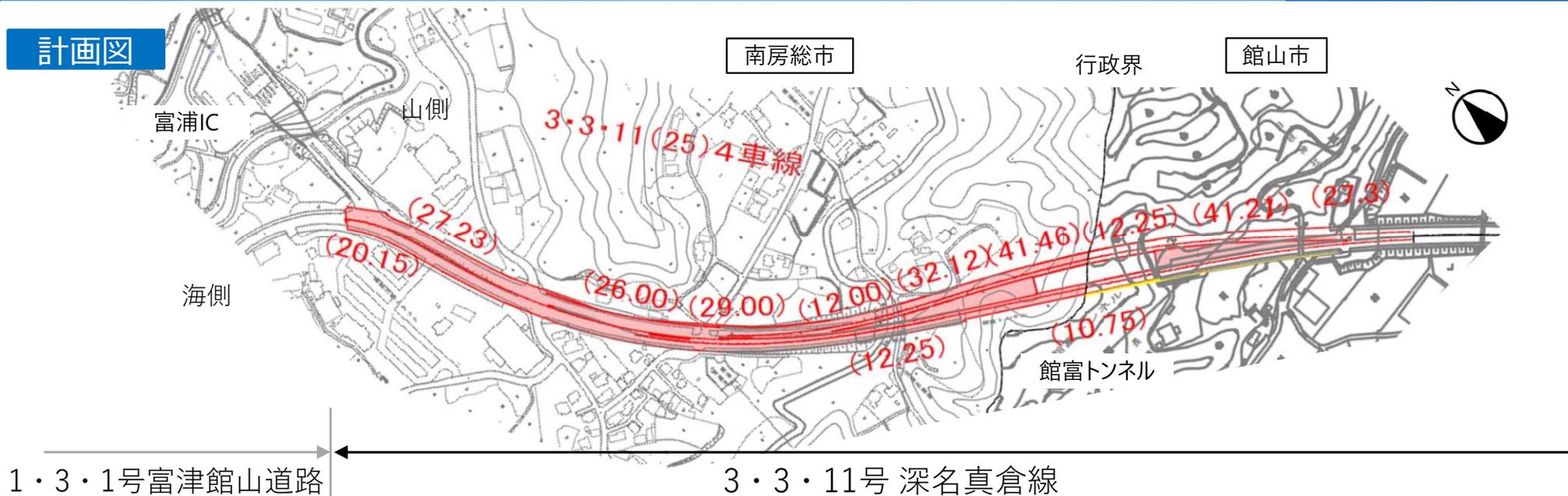
4. 3・3・11号深名真倉線の変更内容について

■全体図



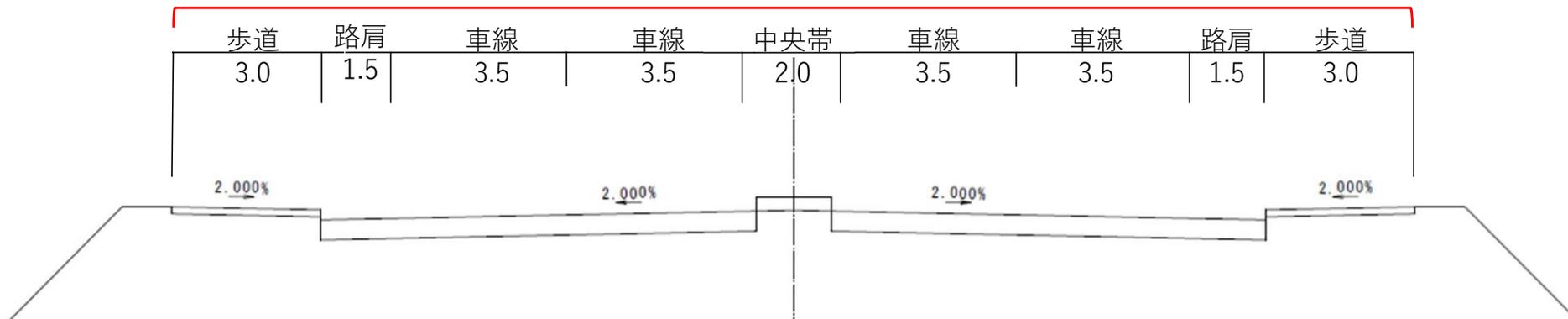
4. 3・3・11号深名真倉線の区域及び幅員について

計画図



標準横断面図

都市計画幅
25m



5. 環境影響評価について 制度概要

- ・ 定義（法第2条）

環境影響評価とは、事業の実施が環境に及ぼす影響について環境の構成要素に係る項目ごとに調査、予測及び評価を行うとともに、これらを行う過程においてその事業に係る環境の保全のための措置を検討し、この措置が講じられた場合における環境影響を総合的に評価すること。

- ・ 対象事業（道路抜粋）（施行令別表第1）

事業の種類		環境影響評価法の第1種事業
道路の新設又は改築	高速自動車国道	すべて
	首都高速道路等	4車線以上
	一般国道	4車線以上・10km以上
	林道	幅員6.5m以上・20km以上

- ・ 都市計画に定められる対象事業等に関する特例（法第38条の6）

第1種事業が都市計画法の規定により都市計画に定められる場合は、環境影響評価は、都市計画決定権者が事業を実施しようとする者に代わるものとして、都市計画の手續と併せて行う。

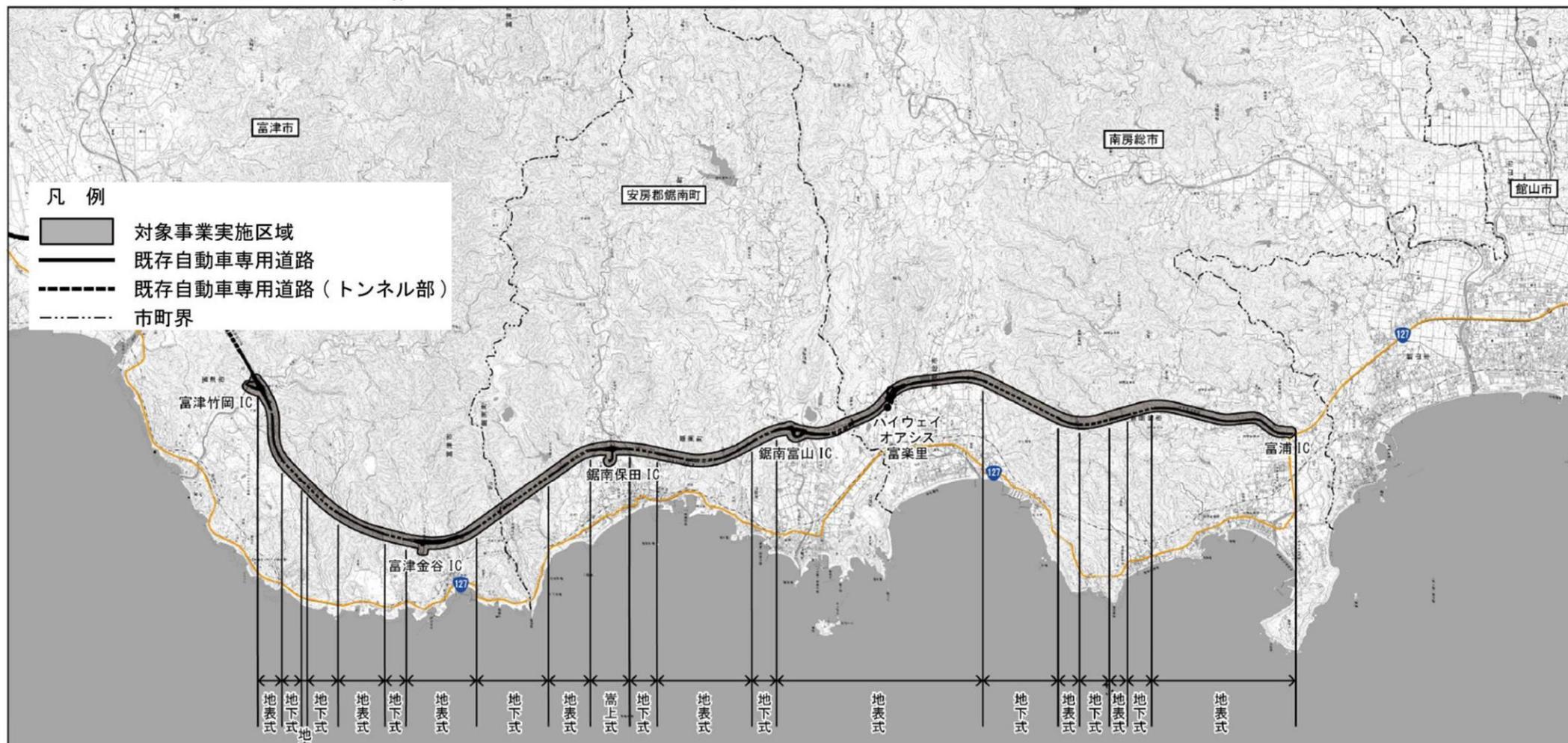
- ・ 都道府県都市計画審議会への付議（法第41条第5項）

都市計画決定権者は、環境影響評価を行う場合には、都道府県都市計画審議会への付議を、都市計画法の規定による都道府県都市計画審議会の付議と併せて行う。

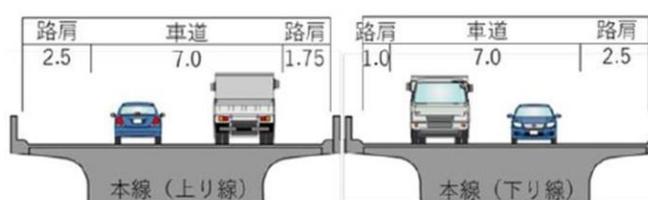
5. 環境影響評価について 都市計画対象道路事業の概要

■ 都市計画対象道路事業の概要

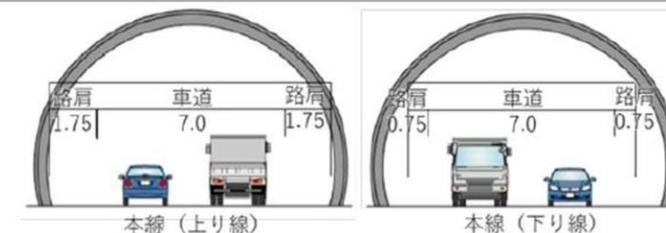
対象事業実施区域、道路構造及び標準横断図：下図に示すとおり



地表式



嵩上式



地下式

5. 環境影響評価について 環境影響評価項目

環境要素の区分	影響要因の区分			工事の実施				土地又は工作物の存在及び供用					
	建設機械の稼働	運行 搬入用いる車両の	資材及び機械の運搬 の除去	切土工等又は既存の 工事用道路等の設置	工事施工ヤードの 設置	水底の掘削等	道路（地表式）の 存在	道路（高上式）の 存在	道路（地下式）の 存在	自動車の走行			
環境の自然的構成要素の良好な状態の保持を旨とする調査、予測及び評価されるべき環境要素	大気環境	大気質	二酸化窒素 浮遊粒子状物質									<input type="checkbox"/>	
			粉じん等	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>								
		騒音	騒音	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>								<input type="checkbox"/>
		振動	振動	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>								<input type="checkbox"/>
	水環境	水質	水の濁り			●	●	●	●				
			水文環境	水文環境			●					●	
	土壌、その他の環境	地形及び地質	重要な地形及び地質				<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
			地盤沈下			●				●		●	
		その他の環境要素	日照障害								<input type="checkbox"/>		
	生物の多様性の確保及び自然環境の体系的保全を旨とする調査、予測及び評価されるべき環境要素	動物	重要な種及び注目すべき生息地		●			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	●
植物		重要な種及び群落					<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	●	
生態系		地域を特徴づける生態系					<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	●	
人と自然との豊かな触れ合いの確保を旨とする調査、予測及び評価されるべき環境要素	景観	主要な眺望点及び景観資源並びに主要な眺望景観							<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
	人と自然との触れ合いの活動の場	主要な人と自然との触れ合いの活動の場							<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
環境への負荷の量の程度により予測、評価されるべき環境要素	廃棄物等	建設工事に伴う副産物			<input type="checkbox"/>								

○ : 道路事業に係る主務省令に示されている参考項目であり、本事業においても環境影響評価項目として選定した項目

● : 主務省令に示されている参考項目ではないものの、事業特性、地域特性から環境影響評価項目として選定した項目

□ : 計画段階環境配慮書で選定された計画段階配慮事項に準ずる項目

5. 環境影響評価について 環境影響評価の総合的な評価

環境要素の大区分	環境要素の区分	影響要因の区分	環境保全措置等	予測結果・評価結果	総合的な評価
大気質	二酸化窒素 浮遊粒子状物質	供用時	計画路線は集落等を回避	0.013ppm 0.031mg/m ²	○
	粉じん等	施工時	「散水」等	0.4~7.2t/km ² /月	○
騒音	騒音	施工時	「仮囲い」等	62~85dB	○
		供用時	「排水性舗装」等	33~69dB	○
振動	振動	施工時	「低振動型建設機械」等	36~66dB	○
		供用時	計画路線は集落等を回避	19~46dB	○
低周波音	低周波音	供用時	計画路線は集落等を回避	62~75dB	○
水質	水の濁り	施工時	「仮設沈砂池」等	環境影響はできる限り 回避または低減	○
水文環境	水文環境	施工時 供用時	計画路線は改變量を 極力抑えた計画	環境影響はできる限り 回避または低減	○
地形及び地質	重要な地形及び地質	施工時 供用時	計画路線は改變量を 極力抑えた計画	重要な地形及び地質は 保全される	○
地盤	地盤沈下	施工時 供用時	計画路線は改變量を 極力抑えた計画	0.1mm 未滿~6.7mm	○
その他の環境要素	日照阻害	供用時	計画路線は集落等を回避	影響なし~3 時間以内	○
動物	重要な種及び 注目すべき生息地	施工時 供用時	「工事工程の配慮」等	環境影響はできる限り 回避または低減	○
植物	重要な種及び群落	施工時 供用時	「移植」等	環境影響はできる限り 回避または低減	○
生態系	地域を特徴づける生態系	施工時 供用時	「移動経路の確保」等	生態系は保全される	○
景観	主要な眺望点及び景観資源 並びに主要な眺望景観	供用時	「構造物等の形式等の検討」等	主要な眺望点等の 改變はない	○
人と自然との 触れ合い活動の場	主要な人と自然との 触れ合い活動の場	供用時	「構造物等の形式等の検討」等	触れ合い活動の場の 改變はない	○
廃棄物等	建設工事に伴う副産物	施工時	「工事間流用の促進」等	環境影響はできる限り 回避または低減	○